

令和4年度第6回新興感染症等対策検討部会（要旨）

1 要 旨

令和5年2月14日、第6回「静岡県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議新興感染症等対策検討部会」を開催し、「感染症対策に係る人材育成」について御意見を伺うとともに、「静岡県版 CDC 検討状況」について報告を行った。

2 概 要

（1）協議事項「感染症対策に係る人材育成」

（事務局説明）

令和5年度の医療機関を対象とした人材育成について、感染対策に関する現状と課題に基づく「標準的な感染予防策の方向性」、「対応方法を検討する体制案」及び「研修の実施対象」について意見を伺った。

<医療機関を対象とした人材育成>

項 目		内 容
感染対策の現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> ○標準的な感染予防策が不明瞭 ・ウイルス特性や患者特性に応じた正しい感染対策が未実施 ・病院ごと独自ルールによる感染対策の実施 ・過剰又は不適切な感染対策による業務負担の増加、職員の疲弊
標準的な感染予防策	仕 組	<ul style="list-style-type: none"> ○標準的な感染予防策を検討 ・一般的な感染予防策(手指衛生、個人防護具の使用、衛生資材の取扱)、感染経路別予防策(空気、飛沫、接触)等の、標準的な感染予防策を徹底するための仕組みを検討
	方 向 性	<ul style="list-style-type: none"> ○標準的な感染予防策を提示 ・標準的な感染予防策をもとに、ウイルス特性や患者特性に応じた、標準的な対応方法を提示
対応方法を検討する体制案		<ul style="list-style-type: none"> ○標準的な感染予防策の作成/周知 ・全県的な ICN 連絡会等を構成し、ウイルス特性、患者特性に応じた標準的な対応方法を作成 ・感染対策向上加算1の医療機関が実施するカンファレンス等を通じ、医療機関へ周知
研修の実施対象		<ul style="list-style-type: none"> ○標準的な感染予防策の周知徹底 ・感染対策向上加算を取っていないなど、カンファレンスへの参加が見込めない病院 ・研修内容はオンデマンド配信等により広く周知

<委員意見等>

標準的な感染症予防策及びその検討体制については概ね了解を得た。研修の対象について多くの意見が出たため、次回以降の部会で引き続き協議していく。

- ・加算3を取ってカンファレンスに参加している医療機関と加算を取っていない医療機関のFICTの介入状況の比率は同程度。少し考えないといけないのではないか。
- ・加算3、加算取ってない医療機関を一気にレベルアップするのはマンパワー的に難しい。県としての方向性は。
- ・加算の病院は加算の枠組みの中で対応することが原則であり、加算の連携ができない病院を研修の対象とすることで差し支えないと考える。

(2) 報告事項「静岡県版 CDC 検討状況」

(事務局説明)

静岡県版 CDC について、「令和5年度の県の感染症対策推進体制」、感染症管理センター基本構想に基づく「常設の専門家会議の構成」に関する検討状況、感染症法改正により新たに規定される「都道府県連携協議会」に関する報告を行った。

<令和5年度の県の感染症対策推進体制>

- ・4月に開設するふじのくに感染症管理センターに感染症対策課が移転。
- ・コロナ対策については、4月以降も引き続き本庁で新型コロナ対策企画課、新型コロナ対策推進課が対応。
- ・医療分野の感染症対策を総括整理する職として、感染症管理センター長を設置。感染症対策、コロナ対策を総括。

<常設の専門家会議の構成>

- ・静岡県版 CDC の常設の専門家会議について、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議を参考に、体制を検討中。
- ・現在感染症対策課で所管する感染症発生動向委員会、肝炎医療対策委員会などを、常設の専門家会議の部会として設置したいと考えている。

<都道府県連携協議会>

- ・感染症法の改正により、感染症発生予防・まん延の防止のための施策実施に当たっての連携協力体制整備のため、都道府県連携協議会の制度が定規定された。
- ・構成員は、都道府県、保健所設置市、感染症指定医療機関、関係団体等。
- ・平時から構成員の連携の緊密化を図り、感染症が発生した場合は必要な対策実施について協議する。その他、感染症予防計画策定・変更の際はこの協議会で協議する。
- ・新型インフルエンザ等医療専門家会議に構成員、機能は似ているので、新型インフルエンザ等医療専門家会議は連携協議会に統合していく。
- ・静岡県版 CDC とは別に、静岡県の連携協議会を作っていく。

<委員意見等>

静岡県版 CDC の体制・機能、連携協議会との関係について多くの意見が出た。次回以降の部会で引き続き協議していく。

- ・静岡県版 CDC と連携協議会の関係をしっかりと議論してほしい。
- ・感染症管理センターでは、感染症、医療、研究等様々な情報を集約、分析し、県民、医療関係者等に役立つ情報を発信していただきたい。
- ・感染症管理センター（感染症対策課）職員についても、国の専門的な研修に派遣する等、感染症対策の専門家が必要なのではないか

<本会議を受けた今後の県の対応>

- 委員からいただいた意見に基づき、再度検討し研修の対象等を決定する。
- 静岡県版 CDC、連携協議会について今後も継続して検討し、ご意見を伺っていく。